

2023年度第5回音環境運営委員会議事録

記録：小柳（幹事）

日時：2024年3月12日（火）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：池上雅之（主査）、小柳慎一郎（幹事）、佐藤逸人（幹事）、會田祐、上野佳奈子、平光厚雄、安田洋介、田中学、星和磨、川井敬二、坂本慎一、羽入敏樹、佐久間哲哉、富田隆太、中澤真司、豊田政弘（敬称略）

欠席者：濱田幸雄、古賀貴士、辻村壮平、佐藤洋（敬称略）

提出資料：

資料5	2023年度第5回音環境運営委員会__議事次第
資料5-0	2023年度第4回音環境運営委員会議事録(案)
資料5-1	2023年度第4回環境工学本委員会議題
資料5-2	2024年度環境工学本委員会 各委員会設置期間・予算額
資料5-3	常置調査研究委員会の予算使途について
資料5-4	企画・広報WGからの提案
資料5-5	雑誌「ディテール」・建設業における音の問題

1) 前回議事録の確認

- ・ 誤字の訂正の他は、原案通り承認された。（資料 No. 5-0）

2) 環境工学本委員会の報告（資料No. 5-1）

- ・ 2023年3月12日に開催された環境工学本委員会について池上主査から報告があった。
 - 24年度の予算配分の結果、全体予算7,400万円のうち、音環境運営委員会は517千円が予算化された。
 - 竹中育英会の募集が開始された。
 - 24年の特別研究テーマ選考結果が発表された。
 - 若手奨励特別研究テーマの選考結果が発表された。
 - 英文刊行物は売上げが低い。事務局から売上げの見込みを立てて進めて欲しいとの依頼があった。
 - 構造部門で刊行物のウェブ閲覧サービスの試行が開始された。有償（サブスク）にて学会員を対象とするが、団体申込みでは会員外も対象となる。
 - 23年度の建築学会大会の概要報告があった。環境工学は前年と同程度、コロナ前と同水準まで戻った。
 - 若手優秀発表の割合について、音環境は10%、環境工学委員会全体で11%と目標値10%に概ね納まった。
 - 会員向け雑誌『建築雑誌』のページが削減される。例えば大会の連絡はQRコードで配布されるなど、連絡手段あるものは代替される。
 - 24年度大会は明治大学8/27～30に開催、投稿〆切4/3AM。プロ編は4/19～26、進め方はあらためて連絡する。
 - AIJES集合住宅の音環境規準・設計指針が刊行予定一覧にリスト化（2025年8月刊行予定）
 - 催し物実施計画書に第83回音環境シンポジウム「保育・インクルーシブ教育のための建築音響設計」が掲載
 - 委員の委嘱・解嘱が公開された。音環境では子供のための音環境WGに岡庭先生、丸山先生追加された。

3) 審議事項

審議済みの案件について池上主査から報告があった。

- ・ a) メール審議し1/18事務局連絡済。その後5千円単位に修正（資料5-2参照）。
- ・ b) 委員公募の件は、実用的遮音計算方法WG（古賀主査）より公募しないとの連絡。1/22事務局連絡済。

- ・ c) 旅費融通の件、運営委員会予算を室内音響小委の旅費に融通。メール審議で異議なく承認。1/26事務局連絡済（予算使途の方針は資料5-3参照）。
- ・ d) 委員会活動報告の件、各小委の提出を取りまとめて2/1に事務局連絡済。（書類中、自己評価する「中間年度」とは設置期間4年の場合は2年目にあたるが、1年毎に自己評価してもよいとのこと。）
- ・ e) 第83回音シンポ7/29開催の件、子どもWG提出の実施計画書に対しメール審議で異議なく承認。3/4事務局連絡済。
- ・ f) 委員追加の件、子どもWG申請の2名追加案に対しメール審議で異議なく承認。3/4事務局連絡。
- ・ g) 大会OS採択の件・測定法小委にて応募の概要を審議。全7件とも採用の結果を3/6に運営委員会に報告。3/6事務局連絡済。

新規審議の案件

- ・ h) 委員退任について
 - 企画広報WGから三井住友建設市川氏が退任、後任は無しとWG星主査から報告
- ・ i) 2024年度末に活動報告・意見交換会を開催する件の継続議論（資料 No. 5-4）
 - 企画広報WG星主査より企画趣旨、実施内容概要が説明された。小委・WGが問題意識・目的・現状・成果物のイメージ・将来のビジョンなどをポスター発表スタイルで提示し状況共有する場を設ける。次回以降の展開も考え、大がかりなシンポジウムではなく発表や会場の準備などに負担のかからない形態が望ましいと考え、本形式が適切と考え設定した。
 - 発表形態の詳細、想定参加者層および人数、発表者が他の小委・WGとの議論ができるかどうか不明であったがその対応は？
 - ◇ 広く意見交換することを重視しポスター形式とした。資料の提示方法は議論したいが通常のポスターが良いと考えている。参加者は委員会・WGメンバーと次期を担う若手を対象とし、一般からの参加は想定していない。発表は交代とし主査も議論できるように設定する。
 - 初めての催し物なのでまずやってみたら良い。一方で研究の現状や途中経過についての情報交換のために発表者以外が地方から出張し現地参加するのはむづかしい。Webを活用するなど気軽に参加できる仕組みにできないか。
 - ◇ 今回は発信が主ではなく、小委員会・WGが意見を受け取る場とするためオンライン参加はなしとした。委員会旅費を活用してご参加頂きたい。web活用は次回以降改めて検討したい。
 - 複数名の意見を聴取できるので対面ならではのメリットがあると思う。
 - 案2にあるパネルディスカッションを是非やりたい。以前開催した数値解析小委と測定法小委の合同でシンポジウムでは議題に重なる部分が多かった。他の小委への期待・要望のある方が多いと考える。
 - 音環境の他分野の研究者と意見交換する良い機会となる。3月には音響学会があり、企業も期末で忙しく、開催日には議論があると思う。発表する内容と議論したい内容が噛み合っていないのではないか。発表すべき内容を強くだしてもらえると良い。
 - ◇ 各委員会が持つ課題・ビジョンが適当か意見をもらえる場としたい。どうすれば意見がもらえるか、いろんな方法があるだろうから、今回はまず自由にやってみることでよいと考えている。
 - 音環境運営委員会全体の在り方について議論する場はあるか、小委員会の編成の議論は本件と関係あるか？
 - ◇ 現在の小委員会の編成により、建築音響の課題を網羅できているか把握できていない。対応先のない課題がいくつも出てくるようであれば委員会の枠組みの見直しが必要だと考える。この催し物は、運営委員会の在り方の議論や小委員会編成の枠組みを変えることが目的ではないが、問題意識が整理されると現編成に疑問が出てくる可能性はある。
 - 運営委員会は傘下の委員会の報告を受けて調整するだけでなく、音環境分野を活性化するための議論の場にしたいという思いがあり、今回の取り組みには賛成する。単なる情報共有ではなく運営委員会の活動を議論する機会となるパネルディスカッションのような企画があった方が良い。
 - ◇ 企画広報WGではパネルディスカッションの議題の候補を出したが、盛り込み過ぎることを避けまずは第一弾としてポスター形式を提案している。
 - パネルディスカッションであれば中継に適しており遠方からのweb参加に対応できる。

- ▶ 本審議の内容を企画広報WGで企画案を整理し運営委員会を通じて小委・WGに周知する。

・ j) 中長期的な課題対応

- ▶ 作成を検討中の課題マップは音環境の課題が現小委・WGで網羅できているかを確認するツールになる。例に挙げる雑誌「ディテール」の吸音特集や大林組資料（資料 No.5-5）のように、各大学、各社で音環境の重要性を説明する資料があれば次回に提供・説明をお願いする。

4) 各小委員会・WG の活動報告

① 固体音小委員会（平光）

- ・ 第4回を2/1に開催。
- ・ インピーダンス法で扱いにくい事例（梁が直交していない台形の部屋など）について、意見交換を行った。
- ・ 木造建築物の性能のカタログ表記等に関する現状と課題について、「意見書」は提出せずに、「個人的」に大会OSでの発表を予定。
- ・ 次回は3/13を予定。年度第 5回を2月5日に開催

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ 欠席のため割愛

③ 建築音響測定法小委員会（會田）

- ・ 今年度第 5回を2月5日に開催
- ・ 音響エネルギー密度を用いた低音域の室内計測法について、最適観測点の理論検討と、数値シミュレーションによるケーススタディ結果に関する議論を行った
- ・ 小委活動成果のOS発表内容について議論を行った
- ・ 3月5-6日に24年大会OS応募結果のメール審議を行い申込全7件を採択
- ・ 次回は4/10に開催予定
- ・ 次回より傘下風騒音WGの主査として池上氏がオブザーバー参加予定

④ 室内音響小委員会（上野）

- ・ 今年度第4回を1月29日（月）に開催
- ・ 室内音響啓発コンテンツ企画WGの活動として、12月、1月に3つのコンテンツを掲載した。
- ・ 吸音設計AIJESの検討状況を共有するとともに、5月GW明けにZoomで公開意見交換会を実施する方針を確認した。
- ・ チュートリアル・シンポジウムの検討のため、AES「基礎音響セミナー」、日建連主催「建築の音響に関する技術講習会」、AIJ「光環境シンポジウム」、AIJ「環境心理チュートリアル」について情報交換を行い、室内音響小委が実施するコンテンツ案について意見交換を行った。
- ・ 次回は5月3週目あたりに開催予定
- ・ 引き続き チュートリアル内容の議論、吸音設計AIJES 意見交換会について審議予定

⑤ 音響数値解析小委員会（安田）

- ・ 本日まで委員会開催なし。報告なし。
- ・ 第4回委員会：3月15日（金）に開催予定。

⑥ 音環境規準検討小委員会（田中）

- ・ 今年度第5回委員会を2/14（水）に開催。今後のAIJES整備に向けてAIJES全体像の議論を重ねるとともに、事務局AIJES作成準備チームの組成を決めた。
- ・ 3/1（金）に第82回音シンポジウム「集合住宅の音環境性能に関するAIJES策定に向けて」を開催した。（申込み113名）
- ・ 傘下の集合住宅音環境AIJES検討WGは、1/29（月）および2/20（火）に拡大WG会合を開催し、音シンポジウム3/1の開催に向けて議論と準備を進めた。

- ・ 次回委員会は4月後半に開催予定。傘下のAIJES検討WGは今年度最後の会合を3/28（木）に開催予定で、その後4月からは小委員会に移行する。

⑦ 企画・広報 WG（星）

- ・ 2/29（木）にオンライン会議を実施，1月に話し合った来年度のシンポジウム案について再度協議した．次回会議は1月22日（月）．年度内にある程度具体案を示せるように活発に議論していく．
- ・ 今回の音環境運営委員会での議論を受け，年度明けの4月に会議を実施する予定

⑧ 実用的遮音計算方法WG（古賀）

- ・ 前回以降WG開催なし。
- ・ 核となる3章4章のフォーマット案を検討中
- ・ 次回は、3月22日開催予定。

⑨ 子どものための音環境WG（川井）

- ・ 7月29日の音シンポジウム開催に向けて準備を進めている。2月8日にシンポ登壇者ミーティングをオンライン開催し、プログラムが全体的に決定した。これを基に実施計画書を作成し、運営委員会のメール審議を経て、3/12の環境工学本委員会に付議した。

⑩ 環境心理生理運営委員会（辻村）

- ・ 欠席のため割愛

⑪ 環境振動運営委員会（冨田）

- ・ 第41回環境振動シンポジウム「新しい木造建築の展開と環境振動」は盛会であった。
- ・ 他に報告事項はなし

⑫ 司法支援建築会議（中澤）

- ・ 2月9日（金）に23年度第3回部会を開催。
- ・ ①大会関連行事として毎年開催している建築紛争フォーラム「（仮題）高層・超高層建築をめぐる建築紛争の現状と課題」の人選（8月26日（月）13:30-17:00、日本大学駿河台校舎）、②第24回司法支援建築会議講演会（東京）のテーマ選定（開催日11-12月）、③全体会議シンポジウムのテーマ選定（開催予定2025年5月）
- ・ 次回部会は、6月初旬で調整中。

⑬ ASJ建音研

- ・ 関西大学で3月27日に開催予定。参加希望の方は事前の参加申し込みをお願いする。
- ・ 4月から主査に上野先生が就任、4月は明治大学、5月はRIONにて開催を予定

⑭ ISO（佐藤洋）

- ・ 欠席のため割愛

5) その他

- ・ WGが廃止されるとストレージサーバーも廃止なのでバックアップのこと。

6) 他学会・研究会の予定

- ・ 日本音響学会建築音響研究会
 - 先の報告の通り
- ・ 日本音響学会騒音・振動研究会
 - 3/29にASJモデルを主題とし東大生研究で開催予定
 - 5/17大建工業、6月は成田空港でそれぞれ見学会込みで開催予定

7) 締め切り関係

- ・ なし

8) 今後の開催予定

2024年度 第1回 5月7日（火） 17:00～19:00
第2回 7月2日（火） 17:00～19:00*
第3回 9月17日（火） 17:00～19:00*
第4回 11月27日（水） 17:00～19:00*
第5回 1月7日（火） 17:00～19:00
第6回 3月11日（火） 17:00～19:00*

(*環境工学本委員会の日程変更の場合は、変更の可能性あり)

以上